

関係人口活用し前向きに

「関係人口活用し前向きに」 フォーラム「地域支援人材が必要」

丹波篠山市は、地域活性化も含めた住民主体の獣がい対策を推進していく意識啓発の一環として、市民センターでこのほど、「獣がいフォーラム」を開いた。7回目の今回のテーマは、「関係人口と取り組む獣がい対策で地域を元気に」。獣がい対策に取り組んでいる集落や学校、NPO法人の代表者らが、事例発表やパネルディスカッションを行い、「さまざまな外部人材（関係人口）の力を活用して、獣がいをポジティブな価値に転換し、地域の活性化に結び付けていくことが重要」など意見を交わした。

約120人が参加。遠くは北海道、奈良、大阪とテーマは、▽みたけの里までの獣がい対策▽篠山から来場があり、丹波、里づくり協議会、篠山市民が行政など連合（携して取り組む獣がい対策）策への関心の高さがうかがえた。



「関係人口と進める獣がい対策のこれから」について話し合うパネリストたち。丹波篠山市黒岡で。



事例発表するみたけの里づくり協議会



事例発表する篠山東雲高校生



獣がい対策支援について報告する さん



地域支援人材の必要性を訴える さん

東雲高校のフード・インスティテュート類型3年（さん）は、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

い対策支援▽NPO法人・里地里山問題研究所（代表理事）は「獣がい対策を推進する地域支援人材の必要性」。それぞれが取り組みを報告した。パネルディスカッションは、神戸大学准教授のさんの進行で、事例発表を行った7人が登壇し、「関係人口と進める獣がい対策のこれから」のテーマで話し合った。さんは、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

2025年2月21日
丹波新聞

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

さん、「観光にきた交流人口でもなく、移住した定住人口でもなく、その間の立場で地域とさまざまな関わりを持つ人々が、関係人口」と前置き。「関係人口を

でね」と伝え、理解してもらっている」と話した。さんは、「地域、関係人口の双方にワインの関係をないとし、何を提供できるか、また、参加者は何を求めているかという双方のニーズを調整し、形にしている能力を持つ人材の確保や育成が必要だ」と強く訴えていた。